

| 調査対象物質 | 分析法フローチャート | 備考 |
|---|--|---|
| [8] 1,5,5-トリメチル-1-シクロヘキセン-3-オン (別名:イソホロン) | <p>【水質】</p> <p>水質試料 100mL 海水ではL-アスコルビン酸 100mg又はβ-カロテン 20mg を添加 内標準物質添加 イソホロン-d₈ 30ng</p> <p>粒子状物質の多い試料については下記 の工程を実施。</p> <p>固相抽出 InertSep PLS-2,270mg/6mL → 洗浄 精製水 10mL → 水分除去 通気 10分間程度</p> <p>溶出 アセトン 5mL → 濃縮 窒素バース 1mLまで → 希釈 ヘキサン 5mL</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム → 濃縮 窒素バース 0.5mLまで</p> <p>妨害物質が多い試料についてはカラムクリーンアップを実施 SepPal Plus Florisil 妨害物質除去: ヘキサン 10mL, ジェチルエーテル/ヘキサン(20:80) 10mL 溶出: ジェチルエーテル/ヘキサン(50:50) 5mL</p> <p>濃縮 窒素バース 0.5mLまで</p> <p>定容 ヘキサン 1mL → GC/MS-SIM-EI アセトン 1.00mL 内標準物質添加 ナフタレン-d₈ 10ng</p> <p>ろ過 GFP 60mmφ → ろ液 → ろ紙 → 超音波抽出 アセトン 5mL × 2回</p> <p>注) 固相抽出に替えてジクロロメタンによる溶媒抽出を行った例があった。</p> <p>「平成26年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p> | <p>分析原理: GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【水質】 (ng/L) [8] 7.8</p> <p>分析条件: 機器 GC: Agilent 7890N MS: Agilent 5977N 他 カラム J&W DB-5ms 30m×0.25mm、0.25μm</p> |